

「第47回日本緑化工学会大会」案内 (第3回)

第47回日本緑化工学会大会運営委員長 今西 純一

第47回日本緑化工学会大会を下記の通り開催いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 大会概要

(1) 日程

2016年9月30日(金) 現地見学会「六甲山系の治山緑化～100年の計の今昔～」

- 12:20 出発 (JR 新神戸駅)
- 13:00 再度山植林事業 (兵庫県神戸市)
- 14:30 移動 (グリーンベルト整備事業の説明)
- 15:30 グリーンベルト整備事業 (国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所)
- 17:00 移動
- 17:30 解散 (JR 芦屋駅)

2016年10月1日(土)

- 10:00 受付開始
- 10:00 ～ 書店, 資材・工法展示
- 10:00 ～ 15:30 ポスター展示
- 10:00 ～ 12:00 理事会
- 12:00 ～ 13:00 評議員会
- 13:10 ～ 14:10 ポスター発表コアタイム1 (論文, 技術報告, 研究交流発表会)
- 14:15 ～ 15:15 総会・学会賞授与式
- 15:30 ～ 17:45 シンポジウム  
「在来緑化植物の種苗はどこまで移動可能なのか？」
- 18:00 ～ 20:00 懇親会 (稲盛記念会館1階「たまご」)

2016年10月2日(日)

- 8:30 受付開始
- 9:00 ～ 書店, 資材・工法展示
- 9:00 ～ 14:30 ポスター展示
- 9:05 ～ 12:00 口頭発表 (論文・技術報告)
- 12:00 ～ 13:00 ポスター発表コアタイム2 (論文, 技術報告, 研究交流発表会)
- 13:00 ～ 14:00 編集委員会
- 13:00 ～ 14:30 研究集会1「河川における生物多様性に配慮した堤防植生管理」
- 14:30 ～ 16:00 研究集会2「熊本地震災害から考える“緑”のはたらき (仮題)」
- 16:00 ～ 17:00 研究集会3「生物多様性保全に配慮した緑化事例 勉強会 (第2回)」
- 17:00 ～ 17:30 優秀ポスター賞表彰式※, 閉会挨拶  
(※応募者は, 優秀ポスター賞表彰式までお残りください。)

## (2) 会場

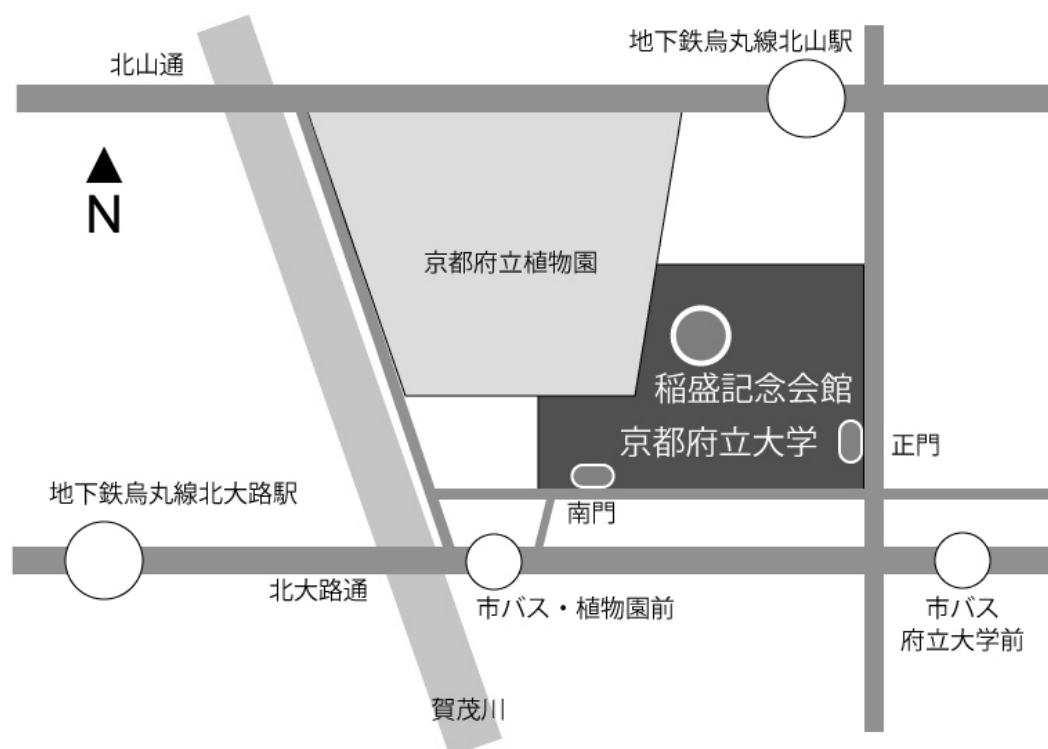
京都府立大学 稲盛記念会館（京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5）

### ★ アクセスマップ

地下鉄烏丸線「北山駅」下車，正門まで南へ約 600m

地下鉄烏丸線「北大路駅」下車，南門まで東へ約 800m

市バス 205 番（四条河原町経由 北大路バスターミナル行），206 番（東大路通経由 北大路バスターミナル行）「府立大学前」下車，正門まで北へ約 350m，「植物園前」下車，南門まで北へ約 300m



京都府立大学ホームページ ([http://www.kpu.ac.jp/category\\_list.php?frmCd=8-3-0-0-0](http://www.kpu.ac.jp/category_list.php?frmCd=8-3-0-0-0)，下鴨キャンパス) でもご覧になれます。

## 2. 参加申込方法・参加費

	正会員	学生会員	非会員 (一般)	非会員 (大学院生)	非会員 (大学生、 高校生)
大会参加 (当日)	5,000 円	1,500 円	7,000 円 (資料含む)	1,500 円 (資料なし)	無料 (資料なし)
懇親会 (当日)	5,000 円	1,500 円	5,000 円	1,500 円	1,500 円

※ 前納受付は2016年8月10日で終了しました。

(1) 資料代

非会員（大学院生，大学生，高校生）の方も，資料（論文・技術報告の印刷された大会特集号と研究交流発表会の要旨集）を当日受付にて2,000円でお買い求めいただけます。

(2) 前納受付された方へ

参加当日、受付にて「前納済み」とお伝えください。

3. 大会プログラム

<b>9月30日(金)</b>	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
兵庫県神戸市				現地見学会(12:20出発)			

<b>10月1日(土)</b>	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
京都府立大学 稲盛記念会館	101	休憩室					
	104	理事会		評議員会		総会等	シンポジウム
	会議室	ポスター貼付(論文, 技術報告, 研究交流発表会)					
	大廊下	ポスター発表 コアタイム① (13:10~14:10)					
	大廊下	事務局					
	105	資材・工法展示					
	メインホール	書店					
	メインホール	受付					
	メインホール	懇親会					
Deil Cafe たまご							

<b>10月2日(日)</b>	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
京都府立大学 稲盛記念会館	101, 103	休憩室					
	102	口頭発表①		研究集会① 研究集会② 研究集会③			
	104	口頭発表②		編集委員会			
	研究ゼミ室1	ポスター貼付(論文, 技術報告, 研究交流発表会)					
	大廊下	ポスター発表 コアタイム② (12:00~13:00)					
	大廊下	事務局					
	105	資材・工法展示					
	メインホール	書店					
	メインホール	受付					
メインホール							

#### 4. 研究発表会（論文，技術報告）

■論文・技術報告 口頭発表① 10月2日（日）9：05～12：00（発表12分，質疑応答3分）

◇ 場所：稲盛記念会館 102 講義室

No.	タイトル	著者	開始時刻
0-01-A	本州・四国・九州における表土利用工と自然侵入促進工の植生回復に関する研究	中村 剛・谷口伸二・大貫真樹子・藤原宣夫	9:05
0-02-A	施工 13 年後の植生回復状況からみた表土マット移植工法の評価	小宅由似・今西純一・堀田佳那・東 若菜・田中伸一・石原一哉・柴田昌三	9:20
0-03-T	植物の耐酸性を向上させる耐酸性菌根菌	江澤辰広・河原 愛・中西夏輝・山梨太郎・堀江直樹	9:35
0-04-T	耐酸性菌根菌(Rhizophagus clarus RF1)資材を用いた酸性土壌法面の緑化工	堀江直樹・山梨太郎・江澤辰広	9:50
(小休憩)			
0-05-T	与那国島におけるすき取り土を使用した森林表土利用工の施工事例報告	石垣幸整・堀江直樹	10:10
0-06-A	氾濫原の休耕牧草地における湿生植物群落再生を目指した表土の有効利用	森本淳子・柴田昌俊・村野道子・志田祐一郎	10:25
0-07-A	京都市東山区における河川環境に対する周辺住民の意識とその実態	小田龍聖・深町加津枝・柴田昌三	10:40
0-08-A	川崎市川崎区を事例とした i-Tree Eco による街路樹の生態系サービスおよびその貨幣価値の推定	平林 聡・徳江義宏・伊藤 綾・Alexis Ellis・Robert Hoehn・今村史子・森岡千恵	10:55
(小休憩)			
0-09-A	岸和田市沖に造られた海浜における植生の初期動態	楠瀬雄三・村上健太郎	11:15
0-10-A	仙台湾岸の津波被災海岸林におけるマツ類の実生分布	大澤啓志・上野 滯・七海絵里香	11:30
0-11-T	気仙沼市沿岸部の 2011 年津波から 4 年後の海岸植物の回復状況	中村華子	11:45

■論文・技術報告 口頭発表② 10月2日(日) 9:05~12:00 (発表12分, 質疑応答3分)

◇ 場所: 稲盛記念会館 104 講義室

No.	タイトル	著者	開始時刻
0-12-A	広域的視点による都市および近郊農業地の土地利用状況と鳥類との関係	濱田 梓・福井 亘・水島 真・瀬古祥子	9:05
0-13-A	大阪中之島における水際空間と鳥類との関係	高林 裕・福井 亘・宮本脩詩・瀬古祥子	9:20
0-14-A	都市近郊二次林におけるコバノミツバツツジ ( <i>Rhododendron reticulatum</i> D. Don ex G. Don) の開花の有無に及ぼす要因	中嶋真希・田端敬三・奥村博司・阿部 進	9:35
0-15-A	Growth and mortality of <i>Castanopsis</i> spp., <i>Quercus gilva</i> Blume, and <i>Lithocarpus glaber</i> (Thunb.) Nakai in a large-scale urban forest in Kyoto city (京都市の大規模都市林におけるシイノキ類、イチイガシおよびシリブカガシの成長と枯死)	Tabata, K., Hashimoto, H. and Morimoto, Y. (田端敬三・橋本啓史・森本幸裕)	9:50
(小休憩)			
0-16-A	樹木幹材の放射性セシウムの不動態と有機物層除去処理の効果	平野堯将・小林達明・高橋輝昌・恩田裕一・斉藤 翔	10:10
0-17-T	高速道路緑地のあるべき姿と管理計画	川西良宜・小笹浩司・小林恒夫・上島 慶・首藤繁雄	10:25
0-18-A	道路のり面における草刈時期設定のための草丈成長モデル式構築	西牟田和沙・築瀬知史	10:40
0-19-T	木材チップまたはグラウンドカバープランツによる防草および生育抑制効果	佐藤厚子・林 憲裕・山田 充・生方雅男	10:55
(小休憩)			
0-20-T	簡易動的コーン貫入試験結果を用いたヨシ ( <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin.) の生育環境の評価	繁富 剛・安里俊則	11:15
0-21-T	鶺鴒に生育するヨシ ( <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin.) の発芽特性及び実生苗生育特性について	西牟田和沙・築瀬知史	11:30
0-22-T	自然養生バークを利用したスギ育苗の試み	田中賢治・岡村怜美・中村干城・志々目道夫・柳田力男・垣内文昭・平岡直樹・竹内真一	11:45

■論文・技術報告 ポスターセッション① 10月1日(土) 13:10~14:10

◇ 場所: 稲盛記念会館 大廊下 / コアタイム (※13:10~13:40, ※※13:40~14:10)

No.	タイトル	著者	時間
P-01-A	桜島における航空緑化施行地の約 10 年後の成立 植生	近藤賢太郎・内田泰三・田中 淳・ 佐藤亜貴夫	※
P-02-T	堆積岩斜面の表層崩壊跡地における木本植生およ び表層土の回復	寺本行芳・下川悦郎・全 権雨・ 金 錫宇・江崎次夫・松本淳一・ 土居幹治	※※
P-03-T	三日月形治山緑化資材 (ToCR) を設置したリルに おける地表流調節に関する現地観測	小川泰浩・上條隆志・菊池輝海・ 岡部宏秋・石森良房	※
P-04-T	京都市で実施した新しいシカ侵入防止柵に関する 実験 (1) 施工後 1 年間の効果確認	井上裕介・東口 涼・柴田昌三・ 山田 守	※※
P-05-T	京都市で実施した新しいシカ侵入防止柵に関する 実験 (2) 柵設置後の初期段階における実生由来サ サの再生経過	東口 涼・柴田昌三・井上裕介・ 山田 守	※
P-06-T	ニホンジカ高密度生息地域のヒノキ人工林におけ る間伐後の表土移動に影響する要因	島田博匡	※※
P-07-A	クマ剥ぎによるヒノキの被害と腐朽の進行	大島潤一・柳澤賢志・飯塚和也・ 石栗 太・横田信三	※
P-08-T	針葉樹人工林伐採地における植栽 3 年後の優占種 とその種特性	山瀬敬太郎・藤堂千景	※※
P-09-A	春植物の地上部消失後の植生と光環境	大塚勇哉・倉本 宣	※
P-10-A	我が国の都市緑化工事における植栽樹種の生物多 様性の観点に基づく評価	加藤真司・吉崎真司・橋田祥子・ 李 夏晨・鈴木弘孝	※※
P-11-T	都市域遊水地公園における樹木生育分布と植生管 理手法に関する研究	小島仁志・福留晴子・小谷幸司・ 島田正文	※
P-12-T	都市型ビオトープに発生するヒメガマ及びヨシの 適正管理に関与する刈取り方法の検討	中嶋佳貴・沖 陽子	※※
P-13-T	大阪万国博覧会記念公園における鳥相の経年変化	福井 亘・森本幸裕	※
P-14-T	応用植物生態学研究室によるキャンパス周辺の生 物多様性保全活動	倉本 宣・山本知紗・三島らすな・ 谷尾 崇・平林由莉・宮田真生	※※
P-15-T	横浜市における学校林を活用した環境教育の実践 と地域連携について	橋田祥子・飯島健太郎・北村 亘・ 吉崎真司	※
P-16-T	都市公園の指定管理者制度におけるフィードバッ クの現状と課題	今西純一・中村 亮	※※
P-17-T	淀川における昭和 20 年代以降の子どもの河川利 用の変化	今西亜友美・松本 愛	※
P-18-A	Local people's knowledge of plants in a kabuyutan sacred natural site in Indonesia and its implication for environmental conservation (インドネシアの自然の聖地 Kabuyutan における 植物種に関する地元住民の知識とその環境保全へ の応用)	Zaini, D. M., Fukamachi, K., Imanishi, J. and Shibata, S. (ダーラン モハマド ザイニ・ 深町加津枝・今西純一・柴田昌三)	※※

■論文・技術報告 ポスターセッション② 10月2日(日) 12:00~13:00

◇ 場所: 稲盛記念会館 大廊下 / コアタイム (※12:00~12:30, ※※12:30~13:00)

No.	タイトル	著者	時間
P-19-T	自生の草本種を用いた路傍草地の植栽1年目の評価	日置佳之・山田智美・柳楽幸一	※
P-20-T	重曹を用いたオオイタドリ ( <i>Reynoutria sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Nakai) の防除の可能性	田崎冬記・渡邊幸一・村中寿孝	※※
P-21-T	オオバコ ( <i>Plantago asiatica</i> L.) を用いた在来種緑化マットの踏圧耐性実験	菱沼宗一郎・小島仁志・小谷幸司・島田正文	※
P-22-A	樹液流動計測に基づいた樹木の移植後の生育評価—移植後4年間のタイサンボク ( <i>Magnolia grandiflora</i> L.) の事例—	竹内真一・高橋理一・飯田真一	※※
P-23-T	フェノール樹脂発泡体混合培養土を用いたヒメイワダレソウ ( <i>Phylacanesces</i> (Kunth) Greene) ロールマットの特性	加藤正広	※
P-24-T	コンテナ苗の植付けに用いる改良型ディブルの試作とその性能評価	近藤 晃・袴田哲司	※※
P-25-T	ゴマギ ( <i>Viburnum sieboldii</i> Miq.) 挿し木における挿し穂の長さが挿し木の活着率に及ぼす影響に関する考察	森原百合・今村史子・田窪遼一	※
P-26-T	埋立地の植栽林におけるクゲヌマランとキンランの人工授粉・袋がけ作業の効果の検証	伊藤彩乃・庄司顕則・赤崎洋哉・松前満宏・山崎 旬・遊川知久	※※
P-27-T	緑地内舗装における稲わらを活用した酸化マグネシウム改良土の適用と環境負荷量の推計	島本由麻・鈴木哲也・森井俊広	※
P-28-T	北海道羅臼地域における治山緑化用自生植物の生殖成長過程の調査	福田尚人・田中勝人	※※
P-29-T	大雪山におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異	澤田 円・我妻尚広・岡本吉弘・森 志郎	※
P-30-T	愛知県田原市西ノ浜海岸における海岸マツ林の天然更新について	鈴木雄樹・吉崎真司	※※
P-31-A	愛知県渥美半島堀切海岸における広葉樹海岸林の種組成及び分布パターン	中島有美子・吉崎真司	※
P-32-T	小型 UAV を活用した香川県有明浜の海浜植生と微地形の把握	戎谷 遵・岡 浩平	※※
P-33-T	紀伊半島西部南東部に自生するアマモ・コアマモ群落の消長	池田航助・中島敦司・大南真緒	※
P-34-A	都市緑地の利用と近隣住民の健康および社会状態の因果構造との関連性	大塚 芳嵩・那須 守・渡部 陽介・高岡由紀子・岩崎 寛	※※
P-35-A	オフィス緑化が勤務者に与える心理的効果に関する研究	矢動丸琴子・大塚芳嵩・中村 勝・岩崎 寛	※
P-36-T	ウレタン製土壌改良材を混入した芝生が利用者にも与える心理的影響	曹 丹青・長谷川啓示・高橋輝昌・岩崎 寛	※※

## 5. 研究交流発表会

■研究交流発表会 ポスターセッション① 10月1日(土) 13:10~14:10

◇ 場所: 稲盛記念会館 大廊下 / コアタイム (※13:10~13:40, ※※13:40~14:10)

No.	タイトル	著者	時間
研交 01	ステビア土壌改良資材の塩類集積緩和効果	杉浦総一郎・田中 聡・水庭千鶴子・高橋新平	※
研交 02	剪定枝由来堆肥の水田への施用が土壌の性質や水稻の生育・収量に及ぼす影響	高橋輝昌・森 かなえ・吉岡拓哉・糸魚川 学・梅谷昌希・平野義勝・平野正男	※※
研交 03	Decomposition characteristics of compost made from pruning materials in soil	Liu, E. and Takahashi, T.	※
研交 04	土壌の酸性が植物遺体の分解特性に与える影響	人見拓哉・高橋輝昌・稲見安希子	※※
研交 05	東京湾臨海部の造成緑地”海の森”における植栽後の経過年数に伴う植栽基盤の変化	松平隼人・川東正幸	※
研交 06	生分解性簡易シエルターを用いたマツの直接播種	明間民央	※※
研交 07	生育基盤の材料と粒径の違いが種子サイズの異なる樹木種子の発芽・初期生育に与える影響	益田 光・松村岳仁・福永健司・橘 隆一	※
研交 08	生育基盤材料・粒径および地床処理が林縁性外来低木類の種子発芽・初期生育に与える影響	桑田明尚・古俣杏菜・福永健司・橘 隆一	※※
研交 09	先駆性外来木本植物の種子発芽に対する光および温度の影響	武井理臣・尾又涼子・小林さと美・福永健司・橘 隆一	※
研交 10	外来木本植物3種の葉抽出物が外来緑化植物の発芽に及ぼす影響	沖本知央・高橋和也・福永健司・橘 隆一	※※
研交 11	異なる生育環境下におけるブナ科当年生実生の年毎の初期成長	大熊紗織・高木正博	※
研交 12	Regeneration processes by stump sprouting of two oak species, <i>Quercus serrata</i> Thunb. and <i>Quercus acutissima</i> Carruth after cutting in secondary deciduous broad-leaved forest	Dinh, T. T., Kajikawa, C., Toribuchi, T., Hirobe, M. and Sakamoto, K.	※※
研交 13	異なる播種量がシカ不嗜好性植物を用いた地域性種苗緑化法面の群落成長に及ぼす影響	中島敦司・友田誠也・上野山公基・川中一博・井上祐介・池田航助・山田 守	※
研交 14	西表島における地域性系統種を用いた緑化事例～森林表土利用工試験施工 6年後の経過報告～	大嶺匡史・大橋 智・大城政人・徳丸慶太郎・浜田昌司・中島 斎	※※
研交 15	国内産外来木本種子と現地採取種子を利用した自然回復緑化の植生推移	小野幸菜・吉田 寛	※
研交 16	コマツナギ, メドハギの国内産および外国産種子の形状, 重量に見られる差異の検討	今西亜友美・今西純一・木村元則	※※
研交 17	イタドリにみられる地理的変異の解明 — 外来緑化植物の地域性の検討に向けて—	木村元則・今西純一・今西亜友美・井鷲裕司・陶山佳久・柴田昌三	※
研交 18	チガヤマットを設置した堤防法面における遺伝的多様性と安定性の評価	東 建介・山口 勉・渡邊 修・浅井元朗・吉岡俊人・水口亜樹	※※
研交 19	侵略的外来種? カミヤツデ ( <i>Tetrapanax papyrifer</i> (Hook.) K. Koch) の種生態	辻 伸弥・日置佳之	※
研交 20	九州の河川における植生自然度区分の検討	山根 明・服部誠二郎・内田泰三	※※
研交 21	北部九州7水系における外来植物の侵入状況	友口勇生・内田泰三	※
研交 22	ミドリハカタカラクサ <i>Tradescantia fluminensis</i> Vell. 'Viridis' の生態的特性	東 哲平・近藤賢太郎・古野宏明・内田泰三	※※
研交 23	ラクウショウは冠水条件下で樹液流を増す?	竹内真一・西山太一郎・森本真央	※
研交 24	北海道の限られた地域におけるトールフェスクの拡散調査	佐藤厚子・林 憲裕	※※



■研究交流発表会 ポスターセッション② 10月2日(日) 12:00~13:00

◇ 場所: 稲盛記念会館 大廊下 / コアタイム (※12:00~12:30, ※※12:30~13:00)

No.	タイトル	著者	時間
研交 25	笠松山山火事跡地における航空実播(播種)工のその後の状況	西田泰弘・山本智一・鳥生貴英・越智清哉・光田明徳・栗林修平・金 錫宇・全 権雨・寺本行芳・河野修一・江崎次夫	※
研交 26	和泉層群地域の山腹荒廃地の緑化	寺本行芳・河野修一・江崎次夫・村上尚哉・稲本亮平・仲原和也・松本淳一・土居幹治・金 錫宇・全 権雨	※※
研交 27	クラゲチップ類を活用した海岸砂地の緑化の状況	寺本行芳・金 錫宇・全 権雨・松本淳一・土居幹治・川瀬至道・浅野美穂・河野修一・江崎次夫	※
研交 28	放置竹林跡地にヤマザクラを植林したその後の状況	河野修一・江崎次夫・寺本行芳・徐 正一・全 権雨	※※
研交 29	史跡河後森城内におけるオンツツジの移植	河野修一・江崎次夫・高山 剛・亀澤一平・日平哲男・谷 清・村尾良男・伊勢屋重一・毛利正幸・寺本行芳・金 錫宇・全 権雨	※
研交 30	クラゲチップを用いた鹿野川ダム周辺のサクラの植栽	江崎次夫・河野修一・鹿野川ダム水源地域ビジョン委員会・寺本行芳・徐 正一・全 権雨	※※
研交 31	エチゼンクラゲチップ類を活用した笠松山山火事跡地の復旧状況	全 権雨・徐 正一・寺本行芳・鳥生貴英・越智清哉・光田明徳・栗林修平・西田泰弘・山本智一・松本淳一・土居幹治・河野修一・江崎次夫	※
研交 32	草本植物に対するミズクラゲチップの施用効果	全 権雨・徐 正一・河野修一・江崎次夫・寺本行芳	※※
研交 33	切土法面に繁茂するクズに対する管理手法の比較生態学的研究	西野惇志・前原 裕・内田泰三・早坂大亮	※
研交 34	苗木植栽緑化地における施工後 13 年の林分動態・年輪解析を用いた緑化樹木の生育特性の把握	堀田佳那・明貝直晃・堀川慎一郎・石井弘明	※※
研交 35	万博記念公園自然文化園に生育するシダ植物の 10 年間の変化	村上健太郎・叶 志浩・森本幸裕	※
研交 36	木本性つる植物テイカカズラ類の生育特性	上町あずさ・福井 亘・岡田準人	※※
研交 37	津波被災海岸林におけるカワラナデシコの生育状況	七海絵里香・新井恵璃子・大澤啓志	※
研交 38	瀬戸内海沿岸部における塩生植物ハママツナの生育環境特性	長田美保・村上数紘・山根将平・岡 浩平	※※
研交 39	UAV で森林植生のオルソ画像をつくる際の撮影高度の影響	丹羽英之・森本幸裕・小島玉雄	※
研交 40	A comparison of plant height and location measurements derived from Structure from Motion and terrestrial laser scanner models of a woodland and a salt flat (SfM と地上レーザスキャナを用いた樹林地と干潟における植物計測)	Jeremiah Sawma ・中村彰宏	※※
研交 41	大山緑地の湿地復元に関する研究-大山緑地の木本植物分布調査による大山緑地湿地復元可能域の推定-	芦澤 満・辻 修・佐々木文華	※
研交 42	福島県飯舘村における居久根の放射線量の経年変化	辻 修・木村賢人・松井洋介	※※
研交 43	高野街道沿いの人工林化が古道の維持に及ぼす影響	野村太郎・中島敦司・児玉康宏・寺本東吾	※
研交 44	麻機遊水地自然再生事業における福祉の場の提案	杉村真美・森本幸裕	※※
研交 45	サービスエリア緑化空間における利用者の行動調査	牛田圭亮・大塚芳嵩・石井麻有子・岩崎 寛	※
研交 46	斜面地に生育する植物の景観評価-道路沿い切り土法面を対象に-	山本 聡・高蓋なつみ	※※
研交 47	蘇州伝統庭園におけるサウンドスケープに関する調査と評価	烏雲巴根・欧 達毅・長谷川祥子・下村 孝・松原斎樹	※

## 6. 現地見学会「六甲山系の治山緑化～100年の計の今昔～」

日時：2016年9月30日（金）12:20～17:30（現地集合，現地解散）

場所：神戸市再度山植林事業地，国土交通省六甲山系グリーンベルト整備事業地（兵庫県神戸市）

### 内容

1902年（明治35年）に始まった六甲山系の砂防造林事業は，緑化学の原点とも言える。そして，六甲山系の治山緑化は現在も形を変えて続いている。今回の見学会は，緑化学の原点を振り返るとともに，未来を見据える機会にしたい。

まず，六甲山系で最初期に治山緑化が進められた再度山を訪れ，当時の写真と同じ場所から，100年を超える時を経た現在の様子を見る。先人の努力に思いを馳せながら，再度山の植生の変化や課題について議論する。再度山については，橋本佳延氏（兵庫県立人と自然の博物館）と神戸市のご担当者に案内をいただく。

見学会後半では，阪神・淡路大震災後に国土交通省によって進められている六甲山系グリーンベルト整備事業を視察する。斜面对策現場や見本林を見学し，治山緑化事業の目的の多様化や，現代的な課題について議論する。六甲山系グリーンベルト整備事業については，国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所のご担当者に案内をいただく。

集合 JR 新神戸駅を12:20に出発する予定です。それよりも前にお集まりください。集合場所の詳細については，お申し込みをいただいた方に個別に連絡させていただきます。

解散 17:30 JR 芦屋駅解散（新快速 停車駅）

備考 各自で飲み物をご持参ください。また，往復30分程度の軽登山となり，ぬかるんでいるところがありますので，履物にご注意ください。昼食は付いていません。雨天決行です。

定員 25名予定（※ 参加受付は2016年8月10日で終了しました。）

## 7. シンポジウム

テーマ：「在来緑化植物の種苗はどこまで移動可能なのか？」

日時：2016年10月1日（土）15:30～17:45

場所：稲盛記念会館 104 講義室

### 話題提供

1. 遺伝的地域性の保全の必要性について 京都大学 井鷲裕司
2. 樹木の種苗移動ガイドラインについて 筑波大学 津村義彦
3. 在来緑化植物の遺伝的地域性に関する研究の現状と課題について 京都大学 下野嘉子

### 内容

生物多様性保全への関心の高まりから，在来種を用いた緑化が積極的に検討されるようになってきている。しかし，在来種による緑化と言っても，外国で生産された種苗が用いられることも多く，遺伝子汚染という新たな問題が懸念されている。本シンポジウムは，(1) なぜ植物の遺伝的地域性を保全しなくてはいけないのかについて理解すること，(2) 現在までに遺伝的地域性のデータの揃っている植物を具体的に取り上げて，種苗を移動可能な範囲のイメージを提示し，議論すること，(3) 環境保全水準の考え方（遺伝的地域性を厳密に保全する場所，その必要のあまりない場所の区別）の重要性を共有することを目的として実施する。

## 8. 研究集会

### (1) 研究集会1「河川における生物多様性に配慮した堤防植生管理」

日時：2016年10月2日（日）13:00～14:30

場所：稲盛記念会館 104 講義室

#### 話題提供

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 河川堤防における植生管理の経緯             | 河川財団 八木裕人・山本嘉昭 |
| 2. 河川堤防に残存する半自然草地の分布とそれを規定する要因 | 学芸大学 小柳知代      |
| 3. チガヤと在来植物を用いた河川堤防緑化の可能性      | 東京大学 山田 晋      |
| 4. 事例紹介「七草堤防プロジェクト」            | 河川財団 山本嘉昭・須田隼人 |

#### 内容

河川堤防は、洪水から国民の生命・財産を守るため、永年にわたり新規築堤や補修が継続的に行われている長大な河川管理施設である。この河川堤防の植生に求められる機能は、洪水を安全に流下させるための耐侵食機能である。また、河川巡視や堤防点検における視認性の確保の点からも、河川堤防の適切な植生管理が重要である。

しかしながら、維持管理予算の削減によって、河川堤防では、従来のような高頻度の刈取りによる植生管理を行うことが困難となった。この植生管理のあり方の変更は、河川堤防における外来種の蔓延などの植生変化を招いている。外来種の優占する河川堤防の耐侵食機能や視認性は、シバやチガヤなど外来種が優占する河川堤防よりも劣ることが知られるため、河川堤防の管理上望ましい植生を維持・誘導するための効率的な植生管理が求められている。

一方、平成20年に「生物多様性基本法」が制定された。河川堤防には、局所的ながら日本の四季を感じられる多くの在来植物が存在し、そこに多種多様な生物が生息している。このため、河川堤防の植生管理を通して、生物多様性の観点から河川堤防における植生の質を高めることも期待される。

本研究集会では、河川堤防における植生管理に関するこれまでの経緯や、河川堤防に残存する在来植物の現状、植生管理の新たな取り組みを概観することで、今後の生物多様性にも配慮した河川堤防の植生管理の可能性を探るものである。

### (2) 研究集会2「熊本地震災害から考える“緑”のはたらき（仮題）」

日時：2016年10月2日（日）14:30～16:00

場所：稲盛記念会館 104 講義室

#### 話題提供

1. 防災緑化研究部会から
2. 斜面緑化研究部会から
3. 生態・環境緑化研究部会から
4. 都市緑化技術研究部会から
5. 緑・健康研究部会から
6. 質疑応答・意見交換

#### 内容

本年7月3日（日）に仙台にて開催された「熊本地震緊急集会・現地報告会」を受け、熊本地震災害に関する研究集会を開催することになった。4月に発生した熊本地震では、建物倒壊や斜面崩壊など市街地から山間地までの広い範囲に及ぶ災害が発生し、甚大な被害が生じた。発生から数ヶ月経った現在も多く

の方々が避難所生活を余儀なくされている。今後の災害復旧にあたって“災害に強い山づくり，都市づくり”が必要であると同時に，国立公園内にある南阿蘇地域では生物多様性の保全にも配慮しなければならない。また，病院，避難所，仮設住宅などでの生活には“緑”の潤い，癒し効果が発揮されるに違いない。

そこで，本学会の5つの研究部会の代表者により，熊本地震の被災地に対して“緑”に何ができるのか，学会として何をすべきなのかなどについて話題提供していただく。

企画担当

日本緑化工学会研究部門，防災緑化研究部会，斜面緑化研究部会，生態・環境緑化研究部会，都市緑化技術研究部会，緑・健康研究部会

問い合わせ先

福永健司（東京農業大学地域環境科学部）[fuku@nodai.ac.jp](mailto:fuku@nodai.ac.jp)

### (3) 研究集会3「生物多様性保全に配慮した緑化事例 勉強会（第2回）」（斜面緑化研究部会）

日時：2016年10月2日（日）16:00～17:00

場所：稲盛記念会館 104 講義室

話題提供

「斜面緑化工における苗木植栽工の失敗事例 ～計画，維持管理段階での課題の発見～」

SPTEC・YAMADA 山田 守

内容

近年，斜面・法面緑化工の分野では，生物多様性保全に配慮した緑化の重要性が指摘されているが，実際の現場では，相変わらず外来緑化植物による緑化が主流である。斜面緑化研究部会が過去に開催した研究集会では，市場単価による発注システムの課題，緑化材料（森林表土，地域性種苗）の確保や取扱いの課題，施工後の不明確な評価基準など，さまざまな課題が指摘されているが，もう一つ，本質的な課題として研究者・技術者の不足が挙げられる。

そこで，斜面緑化研究部会では，特に若手の研究者・技術者の育成を主眼として“勉強会”を企画した。緑化工に係る，研究，開発，計画，設計，施工などの話題提供を頂き，課題の認識，解決策の検討などについて，ゆっくりと議論をしたい。今回は第2回目の勉強会として，苗木植栽工の失敗事例を題材として議論する。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 9. 託児施設に関する情報提供

京都市内の託児施設の情報を提供いたします。託児に関する情報が必要な方は，担当（長島啓子）までお問い合わせください。なお，メールの表題は「託児施設」としてください。

## 10. 大会運営委員会

委員長：今西純一 副委員長：福井 亘 委員：柴田昌三，長島啓子  
〔事務局連絡先〕

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 環境デザイン学研究室  
第47回日本緑化工学会大会事務局

TEL：075-753-6099（今西） FAX：075-753-6082

メール : ryokkakou47@googlegroups.com (※gmail.com ではありません)

#### その他

学内の食堂について : 稲盛記念会館 1 階にレストランがあり, 土曜日のみ 11 時から 14 時まで営業となります。京都府立大学周辺の飲食店案内マップを配布予定です。

許可された車以外, 学内への入庫はできません。公共交通機関でお越しください。